

研究協力のお願

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

高リスク限局性前立腺癌に対する Trimodality therapy の治療成績
1. 研究の対象および研究対象期間 2015年8月1日から2019年4月30日に昭和大学江東豊洲病院の放射線治療科および泌尿器科で Trimodality therapy（密封小線源治療＋外照射＋ホルモン治療）を行った高リスクの限局性前立腺癌の患者さん
2. 研究目的・方法 当院では D'amico 分類の高リスクの前立腺癌の患者さんに対し、密封小線源治療＋前立腺および骨盤内リンパ節領域に対する外照射＋長期のホルモン療法を併用する Trimodality therapy という治療を行っています。本研究の目的は患者さんの診療録から Trimodality therapy の長期の治療成績および再発形式を分析し、その結果により今後外照射の照射範囲を前立腺のみに縮小するか、またその場合に線量や回数を変えるかを検討する予定です。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2025年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 患者背景（年齢、性別、身長、体重、診断病名、症状、既往歴、現病歴、併用薬、入院日、転院日、転帰）、放射線治療に関する情報（処方線量、照射回数、照射日数、照射野）、ホルモン治療に関する情報（薬剤、処方期間）、臨床検査項目（血液・生化学検査、骨盤 MRI 検査、体幹部 CT 検査、骨シンチグラフィ検査、病理検査）
5. 外部への試料・情報の提供 該当致しません。
6. 研究組織 研究責任者 昭和大学江東豊洲病院 放射線治療科 小林 玲

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院 放射線治療科

氏名：小林 玲

住所：東京都江東区豊洲 5-1-38

電話番号：03-6204-6000